

あだたら

六月二十日(土)

六月山行、猪苗代町・川桁山

報告 □□□□

第380号
発行所 所部
本松市 松山部
あだたら 山部
編集 集



10時51分、川桁山山頂

コロナ禍と会員皆さん方も自粛生活で山歩きも控えておられると思いますが、合間を見て賢くスタートしたいと思います。

川桁山一四一三mは六月十四日に計画してましたが、雨天になり二十日(土)に実施しました。川桁山は猪苗代町の東側にあり、奥羽山脈の一角にある堂々とした自然豊かな広大なブナ林に覆われた静かな山である。登るには廻りの名山には勝るとも劣らず、技術と根性を要する山であり、日程変更もあり、有志四名で、二本松に定刻六時

半前に全員集合、本宮経由で猪苗代湖を左に内野の登山口に到着し、準備運動して七時三十五分に登山開始する。計画通りで林道歩きに入る。天気は昨夜の雨でガスが掛かり快適と、此からの急坂を予想して、千石川に平行して歩く。林道も左右へと別れるが迷わずに進む、少し坂になり川より離れて大きく曲がる。三十三転びの急坂になる。三十三度の傾斜になる。ほぼ直登するが、あまりの急坂で左右に外れて登り下りする人もいる様だ。誰も事無く難所を突破して支尾根に九時十五分に着き、立ち休憩ををする。キユウリ漬けが山では最高に美味しい!!。三十八転びとも言うが、最後の急登で私は下りよりもおもしろい。南方の展望も開けてるがガスで全く見えない。一段落する。ブナの大木が広がる、この急登に「頑張れよー」と励ましてくれる様に杖を張り出して行く。これから山頂迄これでもかと言うほどの九つもの山頂らしい尾根を登る。途中リステル猪苗代方面への分岐があるが歩く人は見たことがない。専用登山道の様だ。登山道には木の根

が張り出して昨夜からの雨で濡れており大変滑り易いので注意して登る。帰りの下山のことを考えると気が抜けない。実にきつい登りが連続するがやっと山頂に着く。十時五十分。視界は全く利かない、誰も登山者は無し。

狭い山頂を貸切り独占し、中央で早い昼食となり、願ってはいいたが、西の方より開けて来て磐梯山が大きく現れた。脇に柳ヶ峰、下に赤埴山が。天気予報が当たる様になった。南下に猪苗代湖も大きく広がる。皆歓声を上げる。川桁山の感謝の気持ちを表してくれたと思う。

昼食も終り、二時頃に及ぶ三十三転びか、帰りのことが皆気にかかり、安全策をとり急坂ではあるが、観音寺へ下る周回縦走することに全員で決める。十一時二十分、下山開始。天狗角力取山分岐となる小田峠鞍部への急坂を下る。一四一三mの山からの下りは急坂である。途中「黒玉の木」と「アカモノ」の群生が暫く登山道を楽しませてくれた。途中から安達太良連峰が望めシャッターを切っていた。仲々西側からの展望は見られない。前には天狗角力取山が大きくあり、一時間ほどで、小田峠に着く。分岐だが、テープだけで昔の様に踏み跡は無い。これより又しばらく急坂を下る

と、少し緩やかになり歩き易くなる。シダやコケ類ものだ。登山道も大雨で流されて水無川となっていて、川を滑らない石の上を登山口まで下る。十三時二十三分下山する。駐車場は昔は上にしかなかったが、流されて変形駐車場になっていた。すぐ下に駐車場を設置した。一人では淋しいくらいの自然豊かな山であるが、今回で五回目だ。これより観音寺へと林道を三・五km歩く。話ながら歩いてすぐだ。十四時十五分リステル猪苗代千本桜並木の観音寺に着くが車の内野山の神には約五kmほどあり前に一時間十五分程歩いて帰った事もあるが、今回は交通機関を利用して業界を応援する事にした。十四時五十分内野山の神に戻る。帰りに川桁駅前を通り、安産で有名なおんばさま観音に寄り、山の会の安全祈願をして二本松に五時前に帰り、久しぶりの本格的な登山に全員満足して感謝の気持ちをいっぱいがとうございました。

と、少し緩やかになり歩き易くなる。シダやコケ類ものだ。登山道も大雨で流されて水無川となっていて、川を滑らない石の上を登山口まで下る。十三時二十三分下山する。駐車場は昔は上にしかなかったが、流されて変形駐車場になっていた。すぐ下に駐車場を設置した。一人では淋しいくらいの自然豊かな山であるが、今回で五回目だ。これより観音寺へと林道を三・五km歩く。話ながら歩いてすぐだ。十四時十五分リステル猪苗代千本桜並木の観音寺に着くが車の内野山の神には約五kmほどあり前に一時間十五分程歩いて帰った事もあるが、今回は交通機関を利用して業界を応援する事にした。十四時五十分内野山の神に戻る。帰りに川桁駅前を通り、安産で有名なおんばさま観音に寄り、山の会の安全祈願をして二本松に五時前に帰り、久しぶりの本格的な登山に全員満足して感謝の気持ちをいっぱいがとうございました。

と、少し緩やかになり歩き易くなる。シダやコケ類ものだ。登山道も大雨で流されて水無川となっていて、川を滑らない石の上を登山口まで下る。十三時二十三分下山する。駐車場は昔は上にしかなかったが、流されて変形駐車場になっていた。すぐ下に駐車場を設置した。一人では淋しいくらいの自然豊かな山であるが、今回で五回目だ。これより観音寺へと林道を三・五km歩く。話ながら歩いてすぐだ。十四時十五分リステル猪苗代千本桜並木の観音寺に着くが車の内野山の神には約五kmほどあり前に一時間十五分程歩いて帰った事もあるが、今回は交通機関を利用して業界を応援する事にした。十四時五十分内野山の神に戻る。帰りに川桁駅前を通り、安産で有名なおんばさま観音に寄り、山の会の安全祈願をして二本松に五時前に帰り、久しぶりの本格的な登山に全員満足して感謝の気持ちをいっぱいがとうございました。

と、少し緩やかになり歩き易くなる。シダやコケ類ものだ。登山道も大雨で流されて水無川となっていて、川を滑らない石の上を登山口まで下る。十三時二十三分下山する。駐車場は昔は上にしかなかったが、流されて変形駐車場になっていた。すぐ下に駐車場を設置した。一人では淋しいくらいの自然豊かな山であるが、今回で五回目だ。これより観音寺へと林道を三・五km歩く。話ながら歩いてすぐだ。十四時十五分リステル猪苗代千本桜並木の観音寺に着くが車の内野山の神には約五kmほどあり前に一時間十五分程歩いて帰った事もあるが、今回は交通機関を利用して業界を応援する事にした。十四時五十分内野山の神に戻る。帰りに川桁駅前を通り、安産で有名なおんばさま観音に寄り、山の会の安全祈願をして二本松に五時前に帰り、久しぶりの本格的な登山に全員満足して感謝の気持ちをいっぱいがとうございました。

と、少し緩やかになり歩き易くなる。シダやコケ類ものだ。登山道も大雨で流されて水無川となっていて、川を滑らない石の上を登山口まで下る。十三時二十三分下山する。駐車場は昔は上にしかなかったが、流されて変形駐車場になっていた。すぐ下に駐車場を設置した。一人では淋しいくらいの自然豊かな山であるが、今回で五回目だ。これより観音寺へと林道を三・五km歩く。話ながら歩いてすぐだ。十四時十五分リステル猪苗代千本桜並木の観音寺に着くが車の内野山の神には約五kmほどあり前に一時間十五分程歩いて帰った事もあるが、今回は交通機関を利用して業界を応援する事にした。十四時五十分内野山の神に戻る。帰りに川桁駅前を通り、安産で有名なおんばさま観音に寄り、山の会の安全祈願をして二本松に五時前に帰り、久しぶりの本格的な登山に全員満足して感謝の気持ちをいっぱいがとうございました。

と、少し緩やかになり歩き易くなる。シダやコケ類ものだ。登山道も大雨で流されて水無川となっていて、川を滑らない石の上を登山口まで下る。十三時二十三分下山する。駐車場は昔は上にしかなかったが、流されて変形駐車場になっていた。すぐ下に駐車場を設置した。一人では淋しいくらいの自然豊かな山であるが、今回で五回目だ。これより観音寺へと林道を三・五km歩く。話ながら歩いてすぐだ。十四時十五分リステル猪苗代千本桜並木の観音寺に着くが車の内野山の神には約五kmほどあり前に一時間十五分程歩いて帰った事もあるが、今回は交通機関を利用して業界を応援する事にした。十四時五十分内野山の神に戻る。帰りに川桁駅前を通り、安産で有名なおんばさま観音に寄り、山の会の安全祈願をして二本松に五時前に帰り、久しぶりの本格的な登山に全員満足して感謝の気持ちをいっぱいがとうございました。



三十三転び

と、少し緩やかになり歩き易くなる。シダやコケ類ものだ。登山道も大雨で流されて水無川となっていて、川を滑らない石の上を登山口まで下る。十三時二十三分下山する。駐車場は昔は上にしかなかったが、流されて変形駐車場になっていた。すぐ下に駐車場を設置した。一人では淋しいくらいの自然豊かな山であるが、今回で五回目だ。これより観音寺へと林道を三・五km歩く。話ながら歩いてすぐだ。十四時十五分リステル猪苗代千本桜並木の観音寺に着くが車の内野山の神には約五kmほどあり前に一時間十五分程歩いて帰った事もあるが、今回は交通機関を利用して業界を応援する事にした。十四時五十分内野山の神に戻る。帰りに川桁駅前を通り、安産で有名なおんばさま観音に寄り、山の会の安全祈願をして二本松に五時前に帰り、久しぶりの本格的な登山に全員満足して感謝の気持ちをいっぱいがとうございました。

と、少し緩やかになり歩き易くなる。シダやコケ類ものだ。登山道も大雨で流されて水無川となっていて、川を滑らない石の上を登山口まで下る。十三時二十三分下山する。駐車場は昔は上にしかなかったが、流されて変形駐車場になっていた。すぐ下に駐車場を設置した。一人では淋しいくらいの自然豊かな山であるが、今回で五回目だ。これより観音寺へと林道を三・五km歩く。話ながら歩いてすぐだ。十四時十五分リステル猪苗代千本桜並木の観音寺に着くが車の内野山の神には約五kmほどあり前に一時間十五分程歩いて帰った事もあるが、今回は交通機関を利用して業界を応援する事にした。十四時五十分内野山の神に戻る。帰りに川桁駅前を通り、安産で有名なおんばさま観音に寄り、山の会の安全祈願をして二本松に五時前に帰り、久しぶりの本格的な登山に全員満足して感謝の気持ちをいっぱいがとうございました。

と、少し緩やかになり歩き易くなる。シダやコケ類ものだ。登山道も大雨で流されて水無川となっていて、川を滑らない石の上を登山口まで下る。十三時二十三分下山する。駐車場は昔は上にしかなかったが、流されて変形駐車場になっていた。すぐ下に駐車場を設置した。一人では淋しいくらいの自然豊かな山であるが、今回で五回目だ。これより観音寺へと林道を三・五km歩く。話ながら歩いてすぐだ。十四時十五分リステル猪苗代千本桜並木の観音寺に着くが車の内野山の神には約五kmほどあり前に一時間十五分程歩いて帰った事もあるが、今回は交通機関を利用して業界を応援する事にした。十四時五十分内野山の神に戻る。帰りに川桁駅前を通り、安産で有名なおんばさま観音に寄り、山の会の安全祈願をして二本松に五時前に帰り、久しぶりの本格的な登山に全員満足して感謝の気持ちをいっぱいがとうございました。

と、少し緩やかになり歩き易くなる。シダやコケ類ものだ。登山道も大雨で流されて水無川となっていて、川を滑らない石の上を登山口まで下る。十三時二十三分下山する。駐車場は昔は上にしかなかったが、流されて変形駐車場になっていた。すぐ下に駐車場を設置した。一人では淋しいくらいの自然豊かな山であるが、今回で五回目だ。これより観音寺へと林道を三・五km歩く。話ながら歩いてすぐだ。十四時十五分リステル猪苗代千本桜並木の観音寺に着くが車の内野山の神には約五kmほどあり前に一時間十五分程歩いて帰った事もあるが、今回は交通機関を利用して業界を応援する事にした。十四時五十分内野山の神に戻る。帰りに川桁駅前を通り、安産で有名なおんばさま観音に寄り、山の会の安全祈願をして二本松に五時前に帰り、久しぶりの本格的な登山に全員満足して感謝の気持ちをいっぱいがとうございました。



安達太良連峰が見えた



アカモノが一面に



13時24分、観音寺登山口到着

湯川溪谷登山道整備

報告 編集部

五月十三日(水)



8時40分、登山口出発

五月十三日(水)は湯川溪谷登山道整備の日。午前八時半塩沢登山口集合。参加者は会員五名十一名。□□□□さん夫婦には、三階滝の手かりロープ交換作業をして頂くため、別行動となった。屏風岩向の棧道設置は下山時に行うとして、まずは天狗岩下橋、昨年の○札撤去時に流出が確認されていた。橋の材料も無いため、飛び石徒渉とした。次は巨大倒木二本、通りぬけ容易になるよう、邪

魔な枝を刈払った。次は天狗岩上橋(アルミ橋)、土台の蛇籠破損で土台として利用できず、(おそろく上から流れてきた)手近に橋材があったため、アルミ橋を撤去し木材の橋とした。その上荒竜岩下橋、この橋も流出、先程の橋材はここの橋。対岸にあった倒木二本を必要な長さに切断し、架橋場所まで運んで、架橋した。その上荒竜岩橋は、流木取り除き、持参したアルミ梯子で架橋した。アル

ミ橋材は現存。最後は天狗の庭橋、片側だけ流れていった橋を分解して、再架橋し、番線で固定した。勢至平側は錆びた番線だったのでちよっと不安。午後四時半には、勢至平登山道「塩沢別れ」に到着し、登山道閉鎖していたロープ取り除いた。中通り上空に現れた「土手雲」見ながら勢至平を奥岳に下山。奥岳まで□□□さんの奥さんに迎えに来て頂き、塩沢登山口まで送って頂いた。



土手雲見ながら下山



天狗岩下橋は流出、飛び石徒渉になった



梯子を使用、荒竜岩橋架橋



湯川溪谷登山道の閉鎖解除

六月十三日に安達太良山で遭難があった。場所は塩沢登山口僧侶台ルート。事務局にも問い合わせがあった。六月十三日(土)

僧侶台登山道で、遭難

報告 編集部

今年度から、県岳連会長が、白河山岳会の□□□□さんから、前理事長の石城

2020年(令和2年)6月 8日

興山岳連盟会長 平子吉政氏に聞く 2020.6.27

親しめる環境へ尽力

山岳連盟の活動や、登山者の安全確保、登山道整備などについて、平子会長にインタビュー。

2020-06-27、福島民報

新・県山岳連盟会長に 石城山岳会会長が就任

山道の様子をアドバイス。(昨日の雨で登山道はとにかく滑る狭いので担架での搬送は大変)。遭難者は郡山市の夫婦(五十代後半か六十代?)、滝を観に来たらしく、誰かのブログを見て、登山口から一時間で行けるとの書き込みで、昨日午後から入山。何故か馬返しから僧侶台へ。(ゲーツ)。

僧侶台分岐から霧降の滝に降り時間が無くなってきたので急いで引き返す。午後四時半ごろ暗くなり行動を止めようとするもツェルトやヘッドランプも無く、寒くなってきたので下山を続行したところ奥さんがスリップ・滑落。幸い3mほどで途中の木に引っ掛かり停止。しかし、腰を強打して行動不能となった。まあ、なんといいましょうか、びっくりです。

今日の未明、一時十五分頃スキー場に搬出、医大へ運ばれました。私も馬返しまで出迎え、帰宅して入浴したのは二時でした。

【登山者救助】
▼13日午後8時ごろ、二本松市の安達太良山を下山中の郡山市の会社員女性(68)が沢に転落して動けなくなり、同伴の夫が119番通報した。救急隊員が女性を救助し、福島市の病院に搬送した。(二本松市)

2020.6.15

福島民報の記事